

3・20渋谷へ!

全学連(織田陽介委員長)書記局通信

2011年3月18日
7

Tel 050-3036-6464
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

3・20大結集への最後の訴え

闘う東北の労働者・学生と連帯し、 「菅打倒-被災地支援」の大デモを!

～3・17緊急渋谷デモをうち抜く!～

法大文化連盟・斎藤郁真委員長の 集会基調提起

みなさん! この社会を根本から変える時代が来ました。3月11日に起きた東日本巨大地震の死者・行方不明者は1万人をゆうに超えました。さらに現在、被災地では毛布などの物資が圧倒的に足りない中、雪が降り積もり、大変な状況になっています。さらに、福島原発が爆発し、放射能がまき散らされ、チェルノブイリすら超える事故になるかもしれないと言われています。

この中で、私たち全学連も東北の仲間を支援するため、12日の夜から救援物資を積んで現地に向かいました。その中で見えてきたことは、「菅政権は支援・救援活動を何もして

いない」ということです。それどころか、復興活動の邪魔ばかりしている。仙台市では、その間、自衛隊はおるか警察もいない。東北自動車道は「支援ルート確保」の名目で封鎖されて私たちは使うこともできない。仙台に行くのに新潟経由で12時間もかかる。ガソリンが手に入らなくなる中で、被災地に行くことすらできない状況にしているのはいったい誰なのか! そ



の上で、「募金だけはしろ」と宣伝しています。

しかし、大々的に宣伝されているわりには、物資は現地にほとんど届いていません。仙台市内がそうでした。その一方で、自衛隊が主要地や幹線道路を制圧して治安維持の任務に就いている。さらに、核空母「ロナルド・レーガン」を先頭に米軍も救援にあたっているといいますが、新聞報道などでは米軍がやったことは「たった1名の救出」です。派遣された軍隊は何をやっているのか、私たちの募金は何に使われているのか!

菅政権は結局、地震を機に日米安保体制を強化する口実をつくっただけです。戦争体制の構築のために、今回の地震を利用している。そして原発です。「新成長戦略」の目玉商品として各国に原発を売り込み続けるために、菅政権は原発を停止せず、ひたすら安全だと言い続けています。原発政策を維持するために報道を規制し、デマを流し続けて





います。福島第一原発の1号機が地震翌日の12日15時半に爆発したとき、御用学者を使って「冷却作業の一環で白い煙が出ることがある」などと言わせた。そうやって事実を隠蔽し、避難命令が出たのは5時間も後です。このような一貫した政策の結果、現在の放射能漏れの事態が引き起こされているのです。この数日間

でいったいどれだけの人が被曝しているのか！そしてこの事態に対し、日本経団連会長・米倉(住友化学会長)は「(福島原発は)1000年に一度の津波に耐えて素晴らしい。原子力行政はもっと胸を張るべきだ」「原子力行政は曲がり角に来ているとは思っていない」などととんでもない居直り暴言を吐いている！絶対に許せない。私たちは「ただちに原発を停止せよ!」と言わなければならない。

事態ははっきりしています。菅は、巨大地震直前には倒壊寸前でした。菅は地震によって作りだされた事態を利用し、むしろこの「国難」を自ら維持することで延命しようとしています。そもそも私たちは今の事態をどうとらえるべきか。この地震で社会が壊れたのではなく、この地震で今の社会の矛盾が暴露されたのです。甚大な津波の被害を受けた宮城県・気仙沼市は、「津波のメッカ」として東北大学を中心に世界中から津波の研究者が集まる場所でした。にもかかわらず、付近の住民の要請を無視して「カネがない」という理由で堤防をつくっていなかった。その結果、いったい何人の命があそこで奪われたのか。

危険な原発を地方に押しつけ、反対運動をカネで黙らせてきた。このような事態に備えているべき自治体職員が、「経費削減・合理化」の名のもとに首を切られ、非正規職に落とされ、炊き出しなどの現地救援活動をする人間がいない。介護も商業化され非正規職化された結果、多くの介護を必要とする人々が東北で孤独に死んでいる。人件費削減のために労働組合をつぶした結果、地域の結集軸になる組合がない。現地で食糧やガソリンを効果的に配分できるネットワークが全部削り取られている。実際に市役所には食糧が山積みになっていても、それを配る人がいない、こういう現状を生み出したのは、すべて歴代自民政権、菅・民主党政権、そして日本経団連の資本家どもなんだってことです。日本資本主義というのは、そういう社会だったんだってことです。カネのために人間の団結が解体されていった帰結が今回の事態なんだということです。日本発の世界大恐慌が始まろうとしています。株は大暴落している。これから何が起きようとしているのか？この地震を理由にした解雇・賃下げが始まろうとしている。

既に臨時増税が議論されている。国内の不満を外にそらすためにますます戦争体制が構築されようとしています。だからこそ私たちは今、社会を根本から変えなくてはならない。3月20日、渋谷に集まろうじゃないですか！菅政権や資本家の延命を許してはなりません。彼らのくだらない欲望のために、「我欲」のために、東北の仲間が犠牲にされるわけにはいかない。「政治休戦」なんてものは吹き飛ばして、今こそ一致団結して闘おう！

3月20日から私たち自身の大救援運動を始めます。3・20にどれだけ集まるかでこの運動の規模が決まります。ぜひ結集をよろしくお願いします。そして、今日のデモで全社会に今のこの矛盾を訴えよう。すべての労働者・学生の手で、「休戦」ではなく行動で東北の仲間と連帯しよう。今こそ若者を中心とする大きな運動が必要です。放射能から逃げるのではなく、今この瞬間にこそ俺たちが勝利してこの社会に責任をとっていく。みなさん、闘いましょう!!

石田真弓君(東北大学学生自治会委員長)の 現地アピール

今回の地震を受けて、本当に多くの被害が出ている中でも、これまで心と行動を一つにして闘ってきた仲間の多くが生き抜いているということをおみなさんにはお伝えします。そして、この場に自分がこうして立てていることに感謝します。

地震の翌々日には東京から全学連の仲間が、多くの物資を積んで非常に長い時間をかけて仙台まで来てくれました。ありがとうございます。私はその帰りの車で、東京に来ることができました。私は、被災地から逃げるために東京に来たわけではありません。闘うために東京に来ました。みなさんに現地の状況、そして支援を訴え、何よりもこの被





災の現状を維持し、拡大する菅政権を今すぐにでも打倒するために東京にやってきました。3・20を大成功させ、私は来週には仙台に帰って先頭で闘います。ともに闘いましょう。

現地は本当に悲惨な状況です。わたしの住む日就寮も、水・ガス・電気のライフラインがすべてストップしました。夜の真っ暗い中で、ラジオで本当にひどい状況が伝えられてきます。海岸に200~300の死体があがった。あるいは町が一つ全部燃えている。あるいは1万人の連絡がつかない町がある。そして続く余震。寒さに震えながら、まともに眠ることもできない。このような状況が被災地には強制させられています。

そして原発の問題です。これが本当に私たちに不安を与えています。さらに、食糧がどんどん底を尽きていく。スーパーには何も物が並んでいない。私が訴えたいことは、これが何か人間が予想できない大災害が起きたからしょうがない状況として生まれている、そうではないということです。基調で斎藤君が述べたように、この現実を維持し拡大しているのは菅政権です。私は本当にそのことが許せない。自衛隊を大量に動員していますが、たとえば自衛隊がどこか街を直している、あるいは救援物資を配っている、そういう情報は一切入ってきません。地域の仲間が学校に集まって備蓄をみんなで分け合って生活している。それだけです。菅政権は、私たちを救援するつもりもなければ、東北の地を復興する気もない。このことは、私の実感です。

しかしそういう中で、多くの労働者・学生・市民が団結して今日明日を生き抜くために闘っています。寮に住んでいる学生たちが、積極性と主体性を全面的に爆発させて仲間とともに生きています。自分の持っていた食糧などを開放し、みんなと一緒に飯をつくり、生き抜いていく闘いをやっています。その一方で、大学当局がやっていることは何なのか？ はっきり言って完全な無力です。彼らが言ったことは「学生は帰省してください」だけです。本当にふざけている。生き抜いている学生の団結を、「帰省しろ」と言って破壊しようとしている。しかし、実家が被災地の学生は帰省することさえできない。自分がどうやったら責任から逃れられるか、こういうことしか考えていない。

みなさん、団結が多くの人たちの中にもう一度生み出されてきています。新自由主義攻撃の中で、地域的な連帯や労働組合ずたずたに破壊された結果、多くの人々が殺されています。一人暮らしの老人だとか、介護が必要な方だとか、そういう社会的弱者が殺されていっています。これをのりこえるために、やはり団結が求められています。この団結を取り戻す闘いが、菅政権打倒の闘いへと発展させられていく。それは被災地から必ず生まれてきますし、日本全国からそういう闘いを巻き起こしていきましょう!

未来をつくるのは私たち青年・学生です。いま東京の駅前・街頭には学生があふれ返っています。多くの学生がネットを見て、「自分に何かできることはないか」という気持ちで行動に立ち上がっています。私たちはこの学生・青年の思いを一つにして団結していくことが求められていると思います。やはり3・20に全力で決起していく、このことが核心です。菅政権を打倒する闘いをつくり出しましょう! 「菅政権打倒!」は観念の世界の話ではなくて、現実の怒りの中で菅を打倒して現状を変革する、私たち自身にその力があるんだということが核心だと思います。地域に労働組合を甦らせましょう! 学生は学生自治会を組織しよう! 仲間と団結をつくろう! 私は東北・仙台の地で、東北大学学生自治会をもう一度屹立させ、その先頭になって闘い抜きます。みなさん、ともに闘いましょう!

全学連・織田陽介委員長のまとめ

みなさんお疲れさまでした! 渋谷のあの反応見ましたか! 青年のあの声を聞きましたか! あらゆる怒りと結合し、3月20日から本当に大きな運動を始めるという可能性を僕は今日見ました。

何より、僕たちは菅政権を絶対に打倒しなければならない。誰がやっても、まだましな政権はできる。私たち学生・青年に今すぐ権力をよこせ! どれだけ放射能汚染で無茶苦茶な社会になろうが、それをいったんは全部引き受けて私たちが新しい社会をつくっていく、だから今すぐ権力をよこせ!

いま東北の仲間たち必死で闘い抜いています。この思いと一つになって、3・20を爆発させよう! 街頭に多くの学生が出てきて、「何かしたい」という気持ちがあふれ出ていま





す。だからこそ私たちは、3・20を爆発させたい。ここで4
~ 5人とか数人で動いていてもダメなんだ、菅政権が出来
ないことを俺たちはやらないといけない。その本気で勝
負して、3月20日から5000人-1万人で大救援運動を始めたい
から、全員来てくれっていう、この訴えを貫いて学生・青
年労働者を集めきろう! 何よりも3・20は、私たちが本当に
根本からこの社会を変えるため立ち上がる、そういう集会
にしていく。残り3日間。不眠不休で仲間に声をかけ、熱
意で勝負をして、3・20を爆発させよう!!

<了>